

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	2年	使用	【教科書】なし
科目	生涯スポーツ	2単位	教材	【副教材】ステップアップ高校スポーツ

科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わいながら、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を身に付け、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付ける。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	オリエンテーション	1			○		
陸上競技 球技 体づくり 運動	陸上競技 卓球 ウエイトトレーニング (いずれかを選択)	16 13	○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動技能が正しく理解され身についている。 <p>【主体的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技の特性を理解し、健康・安全を確保しながら学習に主体的に取り組もうとしている。 自分の体力に応じて目標を設定し、ウエイトトレーニングに取り組みながら能力の向上に努力している。 	実技 テスト
球技①	ソフトボール	10	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 投げる・打つといったゲーム展開に必要な基本的技能が身についている。 ゲームの仕方・審判の方法が身についている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。 <p>【主体的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を見つけ解決を図ろうと努力している。 	実技 テスト
球技②	バレーボール	10	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> スパイク、レシーブ、トス、サーブといった基本的な技術の名称と技能を理解しており、自分の課題に気づくことができる。 ゲームを展開するための作戦や状況に応じて仲間と連携した動きが身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備や後片付けなどを積極的に引き受け、フェアなプレーを大切にしながらゲームを行っている。 <p>【主体的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解し、自主的に学習に取り組もうとしている。 	実技 テスト

球技③	バスケットボール	10	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等）の基本的な技術の名称と技能を理解しており、自分の課題に気づくことができる。 ・集団技能（速攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等）の基本的な技術の名称と技能を理解しており、自分の課題に気づくことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫することができる。 <p>【主体的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができる。 	実技 テスト
球技④	バドミントン	10	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>個人技術（サービス、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン等）をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができる。 	実技 テスト	
合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	2年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	2単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
体づくり運動 体力を高める運動	集団行動 新体カテスト	5				○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体カテストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
体育理論①	スポーツの歴史	1				○技(前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚後転、伸膝後転、倒立など)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	単元テスト
器械運動	マット運動 跳び箱運動	6				○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	単元テスト

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	2年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	保健	1単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。	左記の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価基準	評価方法	
			知	思	主			
生涯を通 じる健康	1 ライフステージと健康	2		○		生涯に通じる健康について、課題を発見し、労働と健康の関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどについて解決の方法を思考し判断するとともに、それら (ア) 各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解し、例をあげて表現できる。 (イ) 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について理解し、例をあげて表現できる。 (ウ) 性情報が性行動の選択に及ぼす影響について理解し、表現することができる。	ノート観察 ノート提出 単元テスト	
	2 思春期と健康	1		○				
	3 性意識と性行動の選択	1		○				
	4 妊娠・出産と健康	2			○			
	5 避妊方法と人工妊娠中絶	1			○			
	単元テスト	1	○					ノート観察
	6 結婚生活と健康	2			○			ノート提出
7 中高年期と健康	1		○		前期末考査			

	8 働くことと健康	2		○	(イ) 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	
	9 労働災害と健康	2		○	(オ) 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	
	10 健康的な職業生活	1		○	(カ) 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	
	前期末考査	1	○			

健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康	1		○	健康を支える環境づくりについて、環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高めるために、一人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について着目して、それらを表現することができる。 (ア) 大気にかかわる地球環境の健康問題について例をあげて説明できる。	ノート観察 ノート提出 単元テスト
	2 水質汚濁、土壌汚染と健康	2		○		
	3 環境と健康にかかわる対策	1		○		
	4 ごみの処理と下水道の整備	2		○		
	5 食品の安全性	1		○		
	単元テスト	1	○		(イ) 大気・水・土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	ノート観察 ノート提出 学年末考査
	6 食品衛生にかかわる活動	1		○		
	7 保健サービスとその活用	2		○	(ウ) 食品の安全性に関する今日的な課題について説明できる。	
	8 医療サービス	1		○	(エ) 食品の安全性を確保するための個人的な役割について説明できる。	
	9 医薬品の制度とその活用	2		○	(オ) 保健サービスの活用の例をあげることができる。	
	10 さまざまな保健活動や社会的対策	1		○	(カ) 医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。	
	11 健康に関する環境づくりと社会参加	2		○		
	学年末考査	1	○			
	時数合計	35				

令和8年度 教科年間計画

教科	外国語	2年	使用 教材	【教科書】 All Aboard! English Communication (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションⅡ	3単位		【副教材】 ・ All Aboard! English Communication II WORKBOOK (東京書籍) ・ 夢をかなえる英単語 新ユメタン1 大学合格必須レベル (アルク)

科目の目標

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。

③主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。
----------------	---	---	---	--------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
○オリエンテーション	○オリエンテーション	1			○	英語コミュニケーションⅡの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容) ④単元テスト(学習内容の定着状況を確認する)
○今年やってみたいこと ●Pre-Lesson	○今年やってみたいこと ●Pre-Lesson	3	○	○	○	今年やってみたいことについて、英語で述べるができる。	
○ブラーノ島 ●Lesson 1	○ブラーノ島 ●Lesson 1	7	○	○	○	海外で行ってみたい場所について、英語で述べるができる。	
○ホテルにチェックイン ●Let's Listen 1	○ホテルにチェックイン ●Let's Listen 1	3	○	○	○	ホテルにチェックインする場面における対話を聞き、対話の概要やよく使われる表現を理解し、質問に答える。	
○病院で診察 ●Communication 1	○病院で診察 ●Communication 1	3	○	○	○	病院で診察を受ける場面においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。	
○サムのリクエスト ●Lesson 2	○サムのリクエスト ●Lesson 2	7	○	○	○	世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。	
○Feeling and Emotions ●Word Box 1	○Feeling and Emotions ●Word Box 1	1	○	○		感覚や感情を表す単語や表現を用いて、英文を作成する。	
○ワイルドマンの世界 ●Lesson 3	itの用法	7	○	○	○	身近な行事について、英語で紹介することができる。	
●文法のまとめ1	関係代名詞/比較表現/itの用法	3	○	○	○	Lesson 1~3で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。	
○ハチドリのお話 ●Lesson 4	間接疑問文	7	○	○	○	自分の好きな物語を英語で紹介することができる。	
○世界自然遺産 ●Let's Listen 2	ある地域の特徴や位置を説明する文の形・意味	3	○	○	○	日本にある世界自然遺産についての話を聞き、概要を理解して、その地域を選び、ヒントになった英語	

						を書く。	
○ずっと…し続けています ●Extra Target 1	現在完了進行形： (have + been + 動詞の-ing 形)	1	○	○		「ずっと…し続けています」という文を考えて言う。	
OA Day in English: Part 1 ●Word Box 2	平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味	1	○	○		登校する日の出来事について、英語で表現して発表する。	
○歌舞伎メイクの物語 ●Lesson 5	to 不定詞を含む表現	7	○	○	○	日本の伝統文化について、英語で説明することができる。	
前期期末考査		1	○	○			
○ Hokkaido Study Abroad Program	[やり取り/聞く] ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	1	○	○		学習内容の定着状況を確認する。	
○The Body and Clothes ●Word Box 3	服装についての対話でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味	1	○	○		留学生が語る母国や家族などについての説明を聞き、概要を理解することができる。	
○Mujina ●Reading 1	江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。	8	○	○	○	身体各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を用いて、ふだん着ているものについて英語で対話する。	
●文法のまとめ2	間接疑問文/to 不定詞を含む表現/動詞の形と「時」の関係	3	○	○	○	情景や登場人物の心情を想像しながら、怪談を題材にした物語を暗唱する。	
○伝統野菜を未来につなぐ ●Lesson 6	動詞の目的語になるif 節	8	○	○	○	Lesson 4~5 で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。	
○Various Jobs ●Word Box 4	仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味	1	○	○		地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	
○アートで世界をつなぐ ●Lesson 7	関係副詞：where, when	8	○	○	○	仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。	
○入国審査 ●Communication 2	旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方	3	○	○	○	世界の人々と交流する方法について、英語で述べるができる。	
○ロンドンの地下鉄 ●Getting the Necessary	地下鉄の路線図を見ながら説明する仕方	3	○	○	○	海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用い	
							①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容） ④単元テスト（学習内容の定着状況を確認する）

Information						て、英語で対話をする。	
○自然のデザインに学ぶ ●Lesson 8	知覚動詞	8	○	○	○	ロンドンの地下鉄の路線図を見て、必要な情報を的確に読み取り、目的地への行き方を案内する。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容） ④単元テスト（学習内容の定着状況を確認する）
学年末考査		1	○	○			
●文法のまとめ3	動詞の目的語になる if 節／関係副詞／知覚動詞	3	○	○	○	学習内容の定着状況を確認する。	
○1年間のまとめ	学習した表現や文法の復習	2	○	○	○	Lesson 6～8 で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。	
合計					105		

令和8年度 教科年間計画

教科	芸術	2年	使用	【教科書】 Tutti+ 音楽Ⅱ
科目	音楽Ⅱ	2単位	教材	【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②思考力 判断力 表現力	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めている。 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いている。
③主体的に学習 に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができているか。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

学期	時数	単元名	内容の観点			学習内容	単元のねらいおよび評価規準	評価方法
			知	思	主			
前期	1	オリエンテーション				自分自身の音楽の興味・関心や体験について、中学校までの学習内容を含めて振り返る。	音楽を幅広くさまざまな視点から捉えることについて考える。	
	4	TONE CHIME CHALLENGE	○	○	○	・トーンチャイムによるアンサンブル ・役割分担や音色を生かした演奏の工夫	トーンチャイムによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
	4	日本の「心」を歌う	○	○	○	・日本歌曲(明治～平成)の歌唱 ・歌詞の内容や音楽表現の探究	日本歌曲に親しみ、その特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して個性豊かに独唱する。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
	6	REC×REC ～録って・つないで・再構築! 音素材のリサイクル～	○	○	○	・身近な音素材のサンプリング ・反復やリズムの変化を生かした創作	身近な音素材の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、音の反復やリズムの変化を工夫して、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・提出作品の内容 ・振り返りの内容
	4	Worldwide Music	○	○	○	・世界の諸民族の音楽を、声の表現と楽器の表現の観点から比較鑑賞 ・音楽の多様性・共通性・独自性についてとらえる	世界の諸民族の音楽の音色を知覚・感受し、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、及び音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを自ら味わって聴く。	・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・振り返りの内容
	6	はじめてのクラシックギター 初級編	○	○	○	・クラシックギターの基礎的な奏法を生かしたソロまたはアンサンブルによる演奏 ・曲想にあった音楽表現の工夫	ギターの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
	10	混声合唱にチャレンジ! 2nd Season	○	○	○	・学校祭、卒業式に向けた式歌の取り組み ・少人数による混声合唱	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して合唱する喜びを味わう。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容

後 期	16	テーマに基づく音楽表現の探究	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・創作のうち、任意の分野を選択 ・クリスマスコンサートに向けたテーマの決定と研究 	<p>クリスマスコンサートに向けて課題を設定し、楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に表現するために必要な技能を身に付ける。</p> <p>クリスマスコンサートに向けて設定した課題について、音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・振り返りの内容 	
	2	クリスマスコンサートに向けて	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの作成 ・コンサートの実施に向けた準備 	<p>クリスマスコンサートに向けて、これまでの探究活動を振り返り、プログラムに思いや意図を記すとともに、コンサートに向けた準備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容 	
	2	クリスマスコンサート	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・半年間の集大成としてのコンサート ・活動の振り返り 	<p>1年間の成果をコンサート形式で発表し、校内外に発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容 	
	6	THE FIRST TAKE ～めざせ！金の盾・銀の盾～	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・カバー曲における歌唱表現の工夫 ・歌唱のレコーディング 	<p>日本や外国のポップスをリズムに合わせて歌ったり、曲に込められた思いを味わったりしながら、曲想と歌詞との関わりなどを理解し、個性豊かに歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容 	
	6	デントウ×ト×カクシン 時代を越えて愛される箏の響き	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や基本的な奏法を生かしたソロまたはアンサンブルによる演奏 ・現代邦楽の鑑賞 	<p>和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容 	
	3	コンサートを鑑賞しよう	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅲの卒業コンサートの鑑賞 ・演奏研究のミニコンサートの鑑賞 	<p>音楽のよさや美しさを感じ取り、感じたことを、音楽を構成する要素を根拠にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容 	
	70								

令和8年度 教科年間計画

教科	家庭	2年	使用 教材	【教科書】家庭基礎 自立・共生・創造
科目	家庭基礎	2単位		

科目の目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善することができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
生涯を見通す	人生を展望する	1	○	○	○	ライフステージの特徴を理解し、課題を考える。	ワークシート
	目標を持って生きる	2		○	○	生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	単元テスト
人生をつくる	人生をつくる	1	○		○	生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	
	家族・家庭を見つめる	2	○		○	家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。	
	これからの家庭生活と社会	1		○	○	仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考える。	
衣生活をつくる	被服の役割を考える	1	○	○	○	私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な働きを理解し、まとめる。	ワークシート
	被服を入手する	1	○			健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。	実技テスト
	被服を管理する	1	○	○	○	手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。	作品 振り返りシート
	衣生活の文化と知恵	1	○		○	日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知る。	
衣生活をつくる	衣服制作	8	○		○	制作に必要な用具の使い方を理解し、生活に必要な技術を身につける。	レポート
	これからの衣生活	1		○	○	資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。	単元テスト
子どもと共に育つ	命を育む	2	○			性と生殖に関する健康について理解する。	ワークシート
	子どもの育つ力を知る	2	○			子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	レポート
	子どもと関わる	2		○	○	子どもが健康・快適・安全に育つ環境とはどのようなものか考える。	単元テスト
	これからの保育環境	2		○	○	子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
超高齢社会を共に生きるために	超高齢・大衆長寿社会の到来	1	○			超高齢社会の背景を理解する。	ワークシート
	高齢者の心身の特徴	2		○	○	高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。	
	これからの超高齢社会	1	○	○	○	加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。	
共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉	1		○	○	高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。	ワークシート
	社会保障の考え方	1	○	○	○	家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	
	共に生きる	1	○			国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	
食生活をつくる	食生活の課題について考える	2	○	○	○	食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	ワークシート 調理実習での取り組み 実技テスト レポート
	食事の栄養・食品	2	○		○	栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	
	食生活の選択と安全	2	○		○	食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	
	生涯の健康を見通した食事計画	3	○	○	○	各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを考える。	
	調理の基礎	8	○	○	○	食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につける。	
	食生活の文化と知恵	2		○		日本の食文化の特徴を理解し、継承していくためにはどうしたら良いか考える。	
	これからの食生活	1		○	○	安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能	2		○		住まいの役割や基本的な機能について考える。	レポート
	安全で快適な住生活の計画	2	○			自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。	ワークシート
	住生活の文化と知恵	1	○			気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。	単元テスト
	これからの住生活	1		○	○	持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	
経済生活を営む	情報の収集・比較と意志決定	1	○			現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	ワークシート
	購入・支払いのルールと方法	2		○	○	具体的な買い物場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。	単元テスト
	消費者の権利と責任	2	○			実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。	
	生涯の経済生活を見通す	1	○			経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	
	これからの経済生活	1		○	○	どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。	
持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	1	○	○	○	持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	ワークシート
これからの生活を創造する	生活をデザインする	1	○	○	○	人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。	ワークシート
時数合計		70					

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

教科 科目 単位数	理科 科学と人間生活 2	受備校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第2学年 選択・一斉
教科書 副教材	「高等学校 改訂 科学と人間生活」(第一学習社)				

1 目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

- (1) 自然現象に興味をもち、その法則性について考えるようにしてください。
- (2) 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけてください。
- (3) Google Classroom等のツールを使って課題やレポートの提出、振り返りなどを行います。
- (4) プリントを配布する場合がありますので、各自で管理してください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点と規準

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

(2) 評価方法と観点の関連(○=特に関連の深いもの)

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察			○	授業内の活動および発表
イ 実験操作	○	○	○	実験時の取り組み
ウ レポート		○	○	実験レポート・考察課題の内容
エ テスト	○	○		小テスト・単元テスト・定期考査
総括時の比率	1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 音声や画面の不具合などがある場合には授業中でも遠慮なく教えてください。
- (3) Google Classroom等を用いて課題提出や振り返り、資料配布などを行います。毎時間、端末を用意してください。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroomやワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	○単元 ●主な教材	配当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	オリエンテーション	1		・遠隔授業の雰囲気を読み、これからの学習の指針を立てる。	
	第I章 物質の科学	17	第1節 材料とその利用	(1) 身のまわりにあるプラスチックの特徴と原料について、理解する。 (2) プラスチックはおもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることを理解し、燃焼時の反応などを考察する。 (3) プラスチックの性質（比重など）と用途について、科学的に思考する。 (4) 熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂について、熱に対する性質の違いを理解する。 (5) 高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解する。 (6) 金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について理解する。 (7) 鉄について、性質や製錬方法、利用法などについて理解する。 (8) アルミニウムと銅について、その性質や製錬方法について、科学的に理解する。 (9) 資源の再利用方法に関心を持ち、どのように再利用されているかを理解する。 (10) 金属とガラスの再利用の必要性について科学的に理解する。	①単元テスト 定期考査 ②ワークシート 考察課題 ③学習活動の取組
7 / 8 / 9	第II章 生命の科学	17	第2節 微生物とその利用	(1) 身近に存在する微生物の存在を認識し、微生物と人間生活とのかかわりについて論理的に思考する。 (2) 微生物の発見、自然発生説の否定、病原菌の発見、ウイルスの発見の研究について、科学的に理解する。 (3) 炭素の循環や窒素の循環を通して微生物による自然浄化を理解する。 (4) 自然界にみられる微生物について、植物体内に進入して生活する微生物のはたらきを理解する。 (5) アミノ酸発酵やバイオリアクターの学習を通して、これからの発酵技術と人間生活とのかかわりについて理解する。 (6) 身近にみられる発酵食品が微生物のはたらきによってできることを論理的に思考する。 (7) 抗生物質の発見やワクチンの開発の研究を学習し、微生物によってつくられた医薬品が人間生活にどのように貢献してきたか科学的に理解する。	①単元テスト 定期考査 ②ワークシート 考察課題 ③学習活動の取組

				(8)環境浄化、バイオテクノロジー、エネルギー資源の生産における微生物の利用の学習を通して、これからの微生物の有効活用と人間生活のあり方について理解する。	
10 / 11 / 12	第Ⅲ章 熱や光の科学	18	第1節 熱の性質とその利用	<p>(1) セルシウス温度や絶対温度について理解し、熱運動についての知識を身につける。</p> <p>(2) 熱平衡の現象と、物体の熱容量と比熱について科学的に理解する。</p> <p>(3) 熱伝導、対流、熱放射などのしくみについて理解する。また、水の状態変化と潜熱の概念について理解する。</p> <p>(4) 仕事とエネルギーの関係、ジュール熱と電力の関係について、物理式を用いながら理解する。</p> <p>(5) さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について理解する。</p> <p>(6) 可逆変化と不可逆変化について理解し、熱機関、永久機関の学習を通して、熱はすべて仕事に変えられないことを科学的に理解する。</p> <p>(7) ハイブリッドカーの開発などの省エネルギーの試みや、太陽光や風力、地熱などの代替エネルギーの開発について理解する。</p>	<p>①単元テスト 定期考査</p> <p>②ワークシート 考察課題</p> <p>③学習活動の取組</p>
1 / 2 / 3	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学	17	第1節 自然景観と自然災害	<p>(1)日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解する。</p> <p>(2)火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について理解する。</p> <p>(3) 火山の災害と防災について、火山の噴火によって直接およびされる被害や二次的な被害、火山噴火の予知と防災について、科学的・論理的に理解する。</p> <p>(4)地震の発生のしくみや、日本列島の地震活動とプレートとの関連性について、科学的に理解する。</p> <p>(5) 地震災害と防災について、地震が直接および被害や地震による二次的な被害、地震の予知と防災について、科学的に理解する。</p> <p>(6) 身近にある河川や湖沼、海に興味をもち、河川のはたらきや海水のはたらきによって形成された地形について、その形成のようすを科学的に理解する。</p> <p>(7) 豪雪、台風、集中豪雨、土砂災害など、日本列島でみられる気象災害の特徴とそれがおこるしくみについて、科学的に理解する。</p>	<p>①単元テスト 定期考査</p> <p>②ワークシート 考察課題</p> <p>③学習活動の取組</p>

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	2年	使用	【教科書】最新 数学Ⅱ（数研出版）
科目	数学Ⅱ	4単位	教材	【副教材】3ROUND 数学Ⅱ（数研出版）

【科目の目標】

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察する力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。

③主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	左側の求められる基準に達していない。
----------------	--	---	--	--------------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
式と証明	多項式の乗法と因数分解	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 3次の展開公式及び因数分解の公式を用いて計算することができる。(知) 数学Iで既習の2次の展開公式を利用して、3次の展開公式を導くことができる。(思) 	小テスト(4)
	二項定理	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> パスカルの三角形や組合せの考えを用いて二項定理について考察することができる。(思) パスカルの三角形や二項定理に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。(主) 	小テスト(2)
	多項式の割り算 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法	5	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 分数式の四則計算をすることができる。(知) 多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。(思) 	小テスト(5)
	恒等式	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができる。(知) 恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを比較して考察しようとしている。(主) 	小テスト(2)
	単元テスト	1	○	○			
	等式の証明	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。(思) 等式の証明を通して、数学の論証に関心をもとうとしている。(主) 	小テスト(2)
	不等式の証明	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質を用いた不等式の証明の方法について理解している。(知) 実数や不等式の性質を利用して不等式が成り立つことを証明することができる。(思) 	小テスト(2)

	相加平均と相乗平均	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 相加平均と相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。(知) 相加平均と相乗平均の大小関係の有用性に関心をもとうとしている。(主) 	小テスト (2)
	単元テスト	1	○	○			
複素数と方程式	複素数	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができる。(知) 複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	2次方程式の解と判別式	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。(思) 2次方程式の解が虚数になる場合もあることに関心を持ち、2次方程式の解を考察しようとしている。(主) 	小テスト (2)
	解と係数の関係	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 解と係数の関係を用いて、2数を解とする2次方程式を作ることができる。(知) 2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	剰余の定理と因数定理 高次方程式の解法	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 剰余の定理や因数定理を理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。(知) 因数定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことが出来る。(思) 因数定理を多項式の除法と関連付けて考察しようとしている。(主) 	小テスト (3)
	単元テスト	1	○	○			
図形と方程式	直線上の点	3	○			<ul style="list-style-type: none"> 数直線上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。(知) 	小テスト (3)
	平面上の点	3	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点及び三角形の重心の座標を求めることができる。(知) 数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の問題を考察しようとしている。(主) 	小テスト (3)
	直線の方程式	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。(知) 1点を通る直線の方程式から、異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。(思) 	小テスト (3)

	2 直線の平行と垂直	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 点と直線の距離の公式について理解し、その長さを求めることができる。(知) 2 直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに着目して考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	単元テスト	1	○	○			
	円の方程式	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を用いて、円の方程式を求めることができる。(知) 与えられた方程式が、どのような図形を表すか判断することができる。(思) 与えられた方程式が表す図形に関心をもとうとしている。(主) 	小テスト (3)
	円と直線	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 円と直線の共有点の座標や円の接線の方程式を求めることができる。(知) 円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明することができる。(思) 	小テスト (4)
	軌跡	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 軌跡の定義について理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。(知) 点を満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	不等式の表わす領域 連立不等式と領域	6	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた不等式や連立不等式を座標平面上の領域として図示することができる。(知) 与えられた連立方程式を座標平面上の領域として図示し、それらを活用することができる。(思) 	小テスト (6)
	単元テスト	1	○	○			
	(前期) 期末テスト	1	○	○			
三角関数	一般角 弧度法	3	○			<ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張する意義を理解し、弧度法により角を表したり、扇形の弧の長さや面積を求めたりすることができる。(知) 	小テスト (3)
	三角関数	4		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察することができる。(思) 単位円を利用して、三角関数の性質を調べようとしている。(主) 	小テスト (4)
	単元テスト	1	○	○			

	三角関数のグラフ	6	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。(知) 単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。(思) 	小テスト (6)
	三角関数を含む方程式、不等式	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数を含む方程式、不等式の解き方を理解している。(知) 三角関数を含む方程式、不等式を解く際に、単位円を図示して考察することができる。(思) 	小テスト (2)
	加法定理	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。(知) 単位円を利用して三角関数の加法定理について考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	加法定理の応用	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。(知) 加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとしている。(主) 	小テスト (2)
	三角関数の合成	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の合成について理解し、それを利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。(知) 三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	単元テスト	1	○	○		
指数関数と対数関数	指数法則	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。(知) 指数を整数へ拡張したときの指数法則について考察しようとしている。(主) 	小テスト (3)
	指数関数とそのグラフ	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。(知) 指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	対数	1	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。(知) 指数と対数との相互関係に関心をもとうとしている。(主) 	レポート (1)
	対数の性質	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 対数の基本的な性質について理解し、対数の値を計算することができる。(知) 指数法則と対数の定義から、対数の性質を考察することができる。(思) 	小テスト (3)

	対数関数とそのグラフ	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。(知) 対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。(思) 	小テスト (3)
	常用対数	3	○	○	○ <ul style="list-style-type: none"> 常用対数の意義を理解し、常用対数表を用いて、値を求めることができる。(知) n桁の正の整数や小数首位が第n位の数を、不等式で表現することができる。(思) 桁数や小数首位の問題を一般化して考察しようとしている。(主) 	小テスト (3)
	単元テスト	1	○	○		
微分法と積分法	平均変化率と微分係数	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率や微分係数の定義を理解し、関数の平均変化率や微分係数を求めることができる。(知) 微分係数の図形的意味を理解している。(思) 	小テスト (2)
	導関数 いろいろな関数の微分	4	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 定義に基づいて、導関数を求めることができる。(知) 導関数の性質を利用して、さまざまな導関数の計算ができる。(知) 導関数を表す様々な記号を理解し、それらを適切に使って表現することができる。(思) 	小テスト (4)
	接線	2		○	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数の図形的な意味と直線の方程式の公式から、接線の方程式を考察することができる。(思) 	小テスト (2)
	関数の増減	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。(知) 関数の増減を、接線の傾きから考察することができる。(思) 	小テスト (2)
	関数の極大・極小	4		○	○ <ul style="list-style-type: none"> 関数の極値を調べるのに、増減表を書いて考察することができる。(思) 関数の極値を、導関数を用いて調べようとしている。(主) 	小テスト (4)
	関数の最大・最小	2		○	<ul style="list-style-type: none"> 最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。(思) 	小テスト (2)
	方程式・不等式への応用	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 関数の増減やグラフを調べることで、方程式の実数解の個数を求めることができる。(知) 関数の増減を考察し、与えられた不等式が成り立つことを証明することができる。(思) 	小テスト (2)
	単元テスト	1	○	○		

不定積分 不定積分の計算	5	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。(知) 微分法の逆演算として不定積分を考察することができる。(思) 	小テスト (5)
定積分 定積分の性質	4	○		<ul style="list-style-type: none"> 定積分の定義、公式や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。(知) 	小テスト (4)
面積	4	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。(知) 面積が定積分で表されることに興味をもち、考察しようとしている。(主) 	小テスト (4)
単元テスト	1	○	○		
(後期) 期末テスト	1	○	○		
合計	140				

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

教科 科目 単位数	数学 数学B 2	受信校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第二学年 選択
教科書 副教材	「新編 数学 B」(数研出版) 「教科書傍用 新課程 3 TRIAL 数学 B」(数研出版)				

1 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

- ・なぜ?を大切にす。
- ・図や表などを大きく描く。
- ・別解を大切にす。
- ・ゴールから逆算して考える。
- ・学習の理解度を上げるために、最低限の予習として「教科書をじっくり読む」ことを推奨する。
- ・発展的な内容を取り上げ、思考力・判断力・表現力を磨くことを目指す。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに關する技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

(2) 評価方法と観点との関連 (○=特に関連の深いもの)

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察	○	○	○	学習活動の取組
イ ワークシート		○	○	ワークシート(振り返りシート等)の記述
ウ 宿題・小テスト	○		○	宿題の取組、小テストの結果
エ 定期考査(単元テスト)	○	○		定期考査(単元テスト)の結果
総括時の比率	1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	単元	配当	主な学習内容	目標・ねらい	観点ごとの主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	1	数学 B の学習について		
	第 1 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列	5	1 数列と一般項 2 等差数列	<ul style="list-style-type: none"> 数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。 等差数列の公差、一般項などを理解している。 初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 	①定期テストの結果 (単元テストの結果) 小テストの結果 ②定期テストの結果 (単元テストの結果) ワークシートの記述 ③ワークシートの取組 宿題の取組 学習活動の取組
5		6	3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 補充問題	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 等比数列の公比、一般項などを理解している。 初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 等比数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 	
6	第 2 節 いろいろな数列	10	6 和の記号 Σ 7 階差数列	<ul style="list-style-type: none"> 記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 和 Σr^k について、等比数列の和と捉えて求めることができる。 自然数の 2 乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の 2 乗の和の公式を導こうとする意欲がある。 第 k 項を k の式で表して、初項から第 n 項までの和が求められる。 階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 	
7		3	8 いろいろな数列の和 補充問題	<ul style="list-style-type: none"> 数列の和 S_n と第 n 項 a_n の関係を理解し、数列の一般項が求められる。 $f(k+1) - f(k)$ を用いる和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようとする。 和の求め方を工夫して、数列の和が求められる。 群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 	
8	第 3 節 漸化式と数学的帰納法	4	9 漸化式	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 漸化式を適切に変形し、その数列の特徴を考察することができる。 複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して 	

9		4	<p>10 数学的帰納法</p> <p>補充問題 章末問題</p> <p>定期考査</p>	<p>考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的帰納法を利用して、積極的に証明しようとする。 数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 	
10	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>第1節 確率分布</p>	3	<p>1 確率変数と確率分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 	<p>①定期テストの結果 (単元テストの結果) 小テストの結果</p> <p>②定期テストの結果 (単元テストの結果) ワークシートの記述</p> <p>③ワークシートの取組 宿題の取組 学習活動の取組</p>
7	<p>2 確率変数の期待値と分散</p> <p>3 確率変数の和と積</p>	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、それぞれの定義や既習事項を用いて導こうとする。 確率変数の期待値や分散などの計算式を理解して活用できる。 複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して効率よく求めることができる。 <p>確率変数の独立について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに関心しながら導こうとする。 独立な確率変数の積の期待値や和の分散を、公式を利用して効率よく求めることができる。 			
11		5	<p>4 二項分布</p> <p>5 正規分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義をもとに導こうとする。 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 確率密度関数の定義および性質を理解し、連続型確率変数について確率を求めることができる。 正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに標準化することができる。 標準正規分布に従う確率変数Zについて標準正規分布表を用いて確率を求めることができる。 標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 二項分布について、試行の回数n 	

			補充問題	<p>を大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見るなど、正規分布に近づいていく様子を確かめようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。
12	第2節 統計的な推測	7	6 母集団と標本	<ul style="list-style-type: none"> 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べようとする。 復元抽出と非復元抽出について理解している。 母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。
			7 標本平均の分布	
1		5	8 推定	
2	6	9 仮説検定	<ul style="list-style-type: none"> 対立仮説と帰無仮説、有意水準、棄却域など仮説検定に関わる用語を適切に活用することができる。 2種類の過誤に注意しながら仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。 片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。 	
3		4	数学Bのまとめ	1年間学習した内容を振り返る。
			補充問題 章末問題 定期考査	

令和8年度 教科年間計画

教科	理科	2年	使用 教材	【教科書】 東京書籍 新編 生物基礎
科目	生物基礎	2単位		【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識・技能	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
② 思考力 判断力 表現力	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	基準に達していない
③ 主体的に学習に取り組む態度	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	実験や調べ活動に主体的に関わり、学習した知識を正しく使うことができ、科学的に探究しようとしている。	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 生物の 特徴 1章 生物の 多様性 と共通 性	1節 生物の多様性	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。(知) ・実習1の脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 生物の共通性	4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性や共通性を正しく理解している。(知) ・生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現している。(思) ・実習2の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主) ・実験「ブロックリーのDNA抽出」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 細胞の特徴	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。(知) ・生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
1編 生物の 特徴 2章 生物と エネル ギー	1節 生体とATP	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 酵素のはたらき	3	○			<ul style="list-style-type: none"> ・実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現している。(思) ・酵素の基本的な特徴を理解している。(知) ・実験「パイナップルの酵素」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 呼吸と光合成	3				<ul style="list-style-type: none"> ・代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思) ・呼吸と呼吸の概要を理解している。(知) ・実験「ナッツの燃焼」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
2編 遺伝子と そのはた らき 1章 遺伝情報 とDNA	1節 生物と遺伝子	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 DNAの構造	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。(知) ・DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。(思) ・(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 DNAの複製と分配	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・細胞周期の間期にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。(知) ・DNAの構造で学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
2編 遺伝子とそ のはたらき 2章 遺 伝情報と タンパク 質の合成	1節 タンパク質	2	○			・タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。(知)	・実験 ・単元テスト
	2節 タンパク質と遺伝情報	3	○	○	○	・DNA の塩基配列から mRNA の塩基配列へ転写され、mRNA の塩基配列から tRNA を介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。(知) ・DNA の塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNA の塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。(思)(主)	・実験 ・単元テスト
	3節 細胞の分化と遺伝子	2	○	○		・個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。(知) ・セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)	・実験 ・単元テスト
前期期末考査		1	○	○	○		

3編 ヒトの体 の調節 1章 ヒトの体 を調節す るしくみ	1節 体内環境	4	○			・体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。体内での情報伝達の経路として、神経系・循環系・内分泌系があり、体内環境はさまざまな器官のはたらきによって保たれていることを理解している。(知)	・実験 ・単元テスト
	2節 神経系による情報伝達	3	○	○		・神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解している。脳の構造やおもなはたらきについて理解している。(知) ・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(思)(主) ・実験「鶏頭の解剖」	・実験 ・単元テスト
	3節 内分泌系による情報伝達	2	○		○	・内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。ホルモンの受容や機能するしくみについて理解している。フィードバックによって、ホルモンの分泌量が調節されていることを理解している。(思) ・内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)	・実験 ・単元テスト
	4節 血糖濃度の調節	2	○	○	○	・食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気付き考察している。(思) ・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・実験 ・単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
3編 ヒトの 体の調 節 2章 免疫の はたら き	1節 免疫のしくみ	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいっていることを理解している。血液凝固について、失血を防ぐことによって、体内環境を保つことに関わっていることを理解している。(知) ・白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察している。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 免疫の応用	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一次応答と二次応答、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。(知) ・一次応答と二次応答の抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 免疫とさまざまな疾患	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解している。(知) ・免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト

4編 生物の 多様性 と生態 系 1章 植生と 遷移	1節 身のまわりの植生	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解している。(知) ・身近な植生と環境の観察から、植生と土壌、光の当たり方などの環境条件との関係に気づき、考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 植生の遷移	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル的な遷移の過程を理解している。(知) ・自然災害の種類と一次遷移・二次遷移の関係を理解しようとしている。(思)(主) ・実験「植生ゲーム」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 遷移とバイオーム	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・遷移の結果、気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。(知) ・森林、草原、砂漠が成立する場所の年平均気温と年降水量を調べ、環境条件によって植生が異なることに気づき、考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
4編 生物の 多様性 と生態 系 2章 生態系 と生物 の多様 性	1節 生態系における生物の多様性	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と生態系の種多様性の関係について理解している。(知) ・生態系の中に多種類の生物が存在しており、出現する生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	2節 生態系における生物間関係	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の維持について理解している。(知) ・捕食と被食の関係が種多様性に関わることを見いだして考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	3節 生態系と人為的攪乱	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系のバランスと人為的攪乱を関連づけて理解している。(知) ・多様な生物と環境が関係し合いながらバランスを保ち、攪乱が大きい場合にはバランスが崩れることに気づき考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	4節 生態系の保全	4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の保全の重要性を理解している。生態サービスについて理解している。(知) ・環境アセスメントに関心を持ち、生態系の保全の重要性について考えようとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
学年末考査		1	○	○	○		
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	理科	2年	使用	【教科書】 東京書籍 新編 物理基礎
科目	物理基礎	2単位	教材	【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識・技能	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
② 思考力 判断力 表現力	物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。	物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	基準に達していない
③ 主体的に学習に取り組む態度	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	実験や調べ活動に主体的に関わり、学習した知識を正しく使うことができ、科学的に探究しようとしている。	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	1節 運動の表し方	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・運動している物体のようすを表す物理量のうち、時刻と時間の違い、位置や速さについて理解している。(知) ・運動のようすを表す量を用いて、地図アプリ等に表示させた自分の位置や運動を相手に伝える方法を考え、表現している。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 等速直線運動	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ストロボ写真から、その運動の特徴を考察し、グラフを用いて正確に表現している。(知) ・等速直線運動のv-tグラフ、x-tグラフの特徴を理解している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 合成速度と相対速度	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・動くものの上で動く物体の速度や動くものから見たほかの動いている物体の速度について理解している。(知) ・身近なスポーツに見られる合成速度や相対速度について、自分の体験等を踏まえて考えようとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	4節 直線運動の加速度	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・等加速度直線運動について、運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解している。(知) ・斜面を下る物体の速度の変化を調べるための方法や分析のしかたを自分なりに考え、その考えに基づいて実験を実施している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	5節 落体の運動	4	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・自由落下運動がどのような運動か理解し、その加速度について理解している。(知) ・等加速度直線運動の式から、自由落下運動を表す式の導き方を理解し、表現している。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト

1編 物体の運動とエネルギー 2章 さまざまな力とそのはたらき	1節 力とつり合い	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・力が物体にはたらくとき、物体の運動のようすが変わったり物体が変形したりすることを理解し、力の3要素と、2つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。(知) ・力のつり合いの学習をもとに、斜面上に置かれている物体にはたらく力の存在を推察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 運動の法則	5	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の3つの法則について基本的な原理を理解している。(知) ・物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係を定量的に調べるためにどのような実験を行えばよいか考え、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 さまざまな運動とはたらく力	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・物体の落下運動を運動方程式の身近な適用例として理解し、物体にはたらく重力の大きさを理解している。(知) ・物体が空気中を落下する際に関係しそうな物理量を自分なりに考えたり、簡単な実験を通して科学的に表現したりしている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
前期期末考査		1	○	○	○		

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 物体の運動とエネルギー 3章 力学的エネルギー	1節 エネルギーと仕事	2	○			・仕事とエネルギーの関係、仕事の原理について理解している。(知)	・実験 ・単元テスト
	2節 運動エネルギーと位置エネルギー	2	○	○	○	・運動エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。また、仕事と運動エネルギーの関係について理解している。(知) ・重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。(思)(主)	・実験 ・単元テスト
	3節 力学的エネルギーの保存	2	○	○		・力学的エネルギー保存の法則と、力学的エネルギーが保存される条件について理解している。(知) ・運動エネルギーと位置エネルギーが同時に変化する運動について、それらの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思) ・実験「マイコンを使った実験②」	・実験 ・単元テスト
	4節 力学的エネルギーが保存されない場合	2	○			・力学的エネルギーが保存されない条件を理解している。また、熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている(エネルギー保存の法則が成り立つ)ことを理解している。(知)	・実験 ・単元テスト
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	1節 温度と熱	2	○			・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から定性的に理解している。(知) ・熱がエネルギーであることを理解し、物質の三態と潜熱について理解している。(知)	・単元テスト
	2節 熱の移動と保存	2	○	○	○	・高温の物体が失った熱量と低温の物体が受け取った熱量との関係(熱量の保存)について理解している。(知) ・物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	・実験 ・単元テスト
	3節 熱と仕事	2	○		○	・内部エネルギーの変化と物体に加えた熱量、物体にした仕事との関係(熱力学第1法則)を理解している。(知) ・日常の経験から温度を上げる原因について自分なりに考え、表現しようとしている。(主)	・実験 ・単元テスト
	4節 熱効率と不可逆変化	3	○	○	○	・熱効率と可逆変化、不可逆変化について理解し、熱効率が1以上の熱機関が存在しないことを理解している。(知)(思)(主)	・実験 ・単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 2章 波	1節 波を表す	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解している。振動の方向の違いによる縦波や横波を理解し、縦波のグラフでの表し方を理解している。(知) P波やS波について考え、自分なりにそれらの相違点について考え、表現している。(思) 実験「割り箸ウェブマシーン」 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	2節 波の重ね合わせ	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 波の独立性と波の重ね合わせの原理について理解している。(知) 波が重なって定在波ができるようすを、作図を通して表現している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	3節 音の性質	2	○			<ul style="list-style-type: none"> 音の3要素、空気中での音の速さについて理解している。また、うなりの生じる理由や、1秒間あたりに生じるうなりの回数について理解している。(知) 実験「うなりを見る」 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	4節 弦の固有振動	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 共鳴がどのようなときに起こるのか、固有振動数との関係を理解している。(知) 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主) 実験「偏心モーターで固有振動」 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	5節 気柱の固有振動	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 気柱内に生じる定在波のようすを、閉管、閉管それぞれの場合について理解している。(知) 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気	1節 電流と電圧	2	○			<ul style="list-style-type: none"> 静電気や原子構造、電流の大きさの表し方や向き、電圧について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト
	2節 電気抵抗	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> オームの法則について理解している。(知) 抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	3節 抵抗の接続	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 2つの抵抗を直列接続、もしくは並列接続したときの合成抵抗について理解している。(知)(思) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト
	4節 電気とエネルギー	2	○			<ul style="list-style-type: none"> 電力と電力量、ジュール熱について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト
	5節 直流と交流	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 電磁誘導の法則を理解している。また、発電所では、発電機を回転させることで発電を行っていることを理解している。(知) 電流を流した導線のまわりに起きる変化について考察し、表現している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	6節 電磁波	2	○			<ul style="list-style-type: none"> 電磁波が周波数の違いによって分類され、それぞれの性質に合わせて身のまわりでさまざまに利用されていることを理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト
学年末考查		1	○	○	○		
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	商業	2年	使用 教材	【教科書】 高校簿記 (実教出版)
科目	簿記	2単位		最新段階式 日商簿記検定問題集3級 四訂版 (実教出版) 商業学習準備ノート (英光社)

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、その知識を身に付けている。 収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、その知識・技術を身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についてきちんと理解している。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について具体的数値例に基づき体系的に理解している。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についておおむね理解している。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算についておおむね理解している。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について理解していない。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について理解していない。
②思考力 判断力 表現力	資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。 収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断してきちんと説明できる。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、自分の思考したことを数値を使って説明できる。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断しておおむね説明できる。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力をおおむね身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断したり、説明できない。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断したり、それを表現したりする仕方を身に付けていない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、自ら意欲的に取り組み理解しようとしている。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、多くの演習問題にあたるなど主体的に取り組んでいる。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとして取り組んでいる。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、理解しようとして取り組んでいる。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとして取り組む態度が見られない。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、理解しようとして取り組む態度が見られない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価基準	評価方法
			知	思	主		
簿記の基礎	企業の簿記 簿記の要素 取引と勘定 仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳 試算表 決算	14	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。(知) 簿記上の取引の意味、勘定記入法、仕訳の意味、仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、精算表の作成法を理解しているか。(知) 各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) 簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。(思) 勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。(思) 仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、精算表の作成を考え、適切に作成できたか。(思) 各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思) 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅰ	現金・預金の記帳 商品売買の記帳 掛け取引の記帳 固定資産の記帳 決算(その1)	10	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) 決算の記録・計算・整理に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) 各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(思) 決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思) 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅱ	手形取引の記帳 その他の債権・債務の記帳 販売費及び一般管理費の記帳 資本金の記帳 決算(その2)	10	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) 決算の意味や決算整理の必要性を理解したか。(知) 各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) 貸し倒れの見積もり、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の繰り延べと見越しをともなう決算の手続きを理解したか。(知) 手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(思) 各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(思) 進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思) 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト
	前期末考査	1					
帳簿・伝票と記帳の効率化	帳簿 仕訳伝票と3伝票制 会計ソフトウェア	5	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解しているか。(知) 入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(知) 取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解したか。(知) 仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と伝票の起票、集計・転記を理解しているか。(知) ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いて良いかの判断ができ、適切に表現できるか。(思) 会計ソフトウェアをどのように活用するかを判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(思) 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅲ	有価証券とその他の手形取引の記帳 決算(その3)	10	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 有価証券の取引とその他の手形取引に関する基本的な内容とその記帳法および損益計算書と貸借対照表の作成法を理解したか。(知) 有価証券とその他の手形取引に関する記帳および損益計算書と貸借対照表の作成法に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(思) 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト

本支店の会計	支店の取引 本支店の財務諸表の合併	9	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本支店間の取引、支店相互間の取引、合併貸借対照表と合併損益計算書などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・本支店間の取引、支店相互間の取引について、その記録・計算・整理(合併貸借対照表と合併損益計算書)に関する問題の解決を目指して、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト	
株式会社の記帳	設立と開業の記帳 剰余金の処分に関する記帳 株式会社の税金の記帳	10	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の記帳法について、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・株式会社の記帳法について、その記帳について自らの思考を深め、適切に判断しているか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主) 	振り返りシート 小テスト 単元テスト	
	学年末考査	1						
時数合計		70						

令和8年度 第1回スタサブ到達度テスト 実施要項(案)

- 1 目的 「到達度テスト」により学習の到達度を確認することで、基礎学力の定着をはかるとともに、今後の自主的な学習への意欲を喚起する。

[関連するスクールポリシー]

- ③ 学びに向かう力 ④ 知識・技能を活用する力

- 2 実施日 4月10日(金)

- 3 対象学年 1学年 19名(全員・1春ベーシック)
2学年 13名(全員・1秋ベーシック)
3学年 18名(全員・2秋ベーシック)

4 実施方法

- (1) 1～3時間目を使用して実施。4時間目以降は通常授業とする。
(2) 教室は各教室で行う。生徒座席は出席番号順の着席とし、考査に準じる形式とする。
ただし、途中退室の生徒がいた場合は、戻り次第受験を継続させる。
(3) 問題配付及び回収の時間を除き、解答のみで50分とする。生徒は、各科目の時間内で問題を解きながら、タブレットに解答を入力していく。
(4) 到達度テストの意義の説明はSHR等を利用して行う。特に、1年生については、心構え等についてHR担任より丁寧に指導を行う。
(5) 欠席生徒の追テストは放課後を使い、必ず学校で実施して追加発送で対応をする。

5 時間割・役割分担

	1A	2A	3A
朝学習	～諸注意・受験カード記入～		
1校時 国語	言語文化 上西	論理国語 入澤	国語表現 山本
2校時 数学	数学Ⅰ 間藤	数学Ⅱ 石田	生物 星野
3校時 英語	英Ⅰ 村田	英Ⅱ 園部	英Ⅱ 白井

6 その他

- (1) 各教科の受験コードについては、後日、朝の打ち合わせでお知らせします。

令和8年度 教科年間計画

教科	地理歴史	2年	使用 教材	【教科書】明解 歴史総合 (帝国書院)
科目	歴史総合	2単位		【副教材】明解 歴史総合ノート (帝国書院) 明解 歴史総合図説 シンフォニア (帝国書院)

科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を十分に理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを適切に活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
歴史の扉	歴史と私たち	2			○	課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	単元テスト① プリント
	歴史の特質と資料	2	○			近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と、その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。	単元テスト① プリント
単元テスト①		1	○	○			
近代化と私たち	近代化への問い	3	○	○	○	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と、その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	単元テスト② プリント ノート
	江戸時代の日本と結び付く世界	2	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と、その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト② プリント ノート
単元テスト②		1	○	○			
近代化と私たち	欧米で生まれる国民国家	3	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と、その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解	単元テスト③ プリント ノート

					決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	
	産業革命による欧米とアジアの変化	4	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそ の中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題 の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料 から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能 を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、 現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解 決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したり する力を養っているか。</p>	単元テスト③ プリント ノート
単元テスト③		1	○	○		
近代化 と私た ち	日本における近代国家 の形成	4	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世 界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現 代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解す るとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を 適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養 うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国 の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>	単元テスト ④ プリント ノート
	帝国主義の影響と日本 を含めた東アジアの変 化	3	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世 界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現 代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解す るとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を 適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の 関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、 課題の解決に向けて構想したりする力や、説明した り、議論したりする力を養っているか。</p>	単元テスト ④ プリント ノート
単元テスト④		1	○	○		
国際秩 序の変 化や大 衆化と 私たち	国際秩序の変化や大衆 化への問い	3	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世 界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現 代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解す るとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を 適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養 うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国 の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>	単元テスト ⑤ プリント ノート
	第一次世界大戦とその 影響	4	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世 界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現 代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解す るとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を</p>	単元テスト ⑤ プリント ノート

					適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	
	単元テスト⑤	1	○	○		
	前期期末考査	1	○	○	○	単元テスト①～⑤のまとめ

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
国際秩序の変化や大衆化と私たち	大衆社会の形成と社会運動	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑥ プリント ノート
	揺らぐ国際秩序と日本の行方	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑥ プリント、 ノート
単元テスト⑥		1	○	○			
国際秩序の変化や大衆化と私たち	第二次世界大戦とその影響	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑦ プリント ノート

国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化の振り返り	2	○	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>	<p>単元テスト⑦</p> <p>プリント</p> <p>ノート</p>
単元テスト⑦		1	○	○			

グローバル化と私たち	グローバル化への問い	2	○	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>	<p>単元テスト⑧</p> <p>プリント</p> <p>ノート</p>
グローバル化と私たち	冷戦で揺れる世界と日本	3	○	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p>	<p>単元テスト⑧</p> <p>プリント</p> <p>ノート</p>
	多極化する世界	3	○	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p>	<p>単元テスト⑧</p> <p>プリント</p> <p>ノート</p>
単元テスト⑧		1	○	○			
	グローバル化のなかの世界と日本	3	○	○	○	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解す</p>	<p>単元テスト⑨</p> <p>プリント</p>

					るとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	ノート
	現代的な諸課題の形成と展望	2		○ ○	近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	単元テスト ㊟ プリント ノート
	単元テスト㊟	1	○ ○			
	学年末考査	1	○ ○ ○		単元テスト㊟～㊟のまとめ	
	時数合計	70				

教科 科目 単位数	外国語 論理・表現Ⅰ 2	受信校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第二学年 選択・一斉
教科書 副教材	「MY WAY Logic and Expression I New Edition」(三省堂) 「MY WAY Logic and Expression I New Edition ワークブック」(三省堂)				

1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
 - (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 - (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4サイズ)を必ず用意してください。
- (3) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。ペアやグループの活動では、自分の意見を積極的に述べるなど、恥ずかしがることなくコミュニケーションを図る努力をしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連 (◎ = 特に関連の深いもの)

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察・振り返り	○	○	◎	言語活動への取り組み・振り返りシート等
イ ワークシート・テスト等	◎	◎	○	課題提出、小テスト、定期テスト等
ウ パフォーマンステスト等	◎	◎	○	パフォーマンステスト
総括時の比率	1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 授業者が現地にいらない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。

(5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	○題材 ●主な教材	配当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・論理・表現 I の学習 について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理・表現 I の学習についての見直しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りシートなどの記述内容)
	○自己紹介をしてみよう ●Lesson 1	7	【やり取り/発表】 ・現在形 (be 動詞/一般動詞)	・初対面のあいさつをすることができる。 ・自己紹介のスピーチをすることができる。	
	○学校のことを伝え合おう ●Lesson 2	7	【やり取り/書く】 ・過去形 (be 動詞/一般動詞) ・現在進行形/過去進行形 □対面授業① ◇パフォーマンステスト	・好きだった教科について会話をすることができる。 ・部活動を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
	○アートのおもしろさを伝えよう ●Lesson 3	7	【やり取り/発表】 ・未来表現 ・基本時制 (現在形/過去形/未来表現) のまとめ	・週末の予定について会話をすることができる。 ・好きな絵について発表することができる。	
7 / 8 / 9	○料理や食文化について学ぼう ●Lesson 4	7	【やり取り/書く】 ・現在完了形① (完了/経験) ・現在完了形② (継続) /現在完了進行形	・料理をするときの会話をすることができる。 ・日本の食文化を紹介するレポートを書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りシートなどの記述内容)
	○町の魅力を伝えよう ●Lesson 5	6	【やり取り/発表】 ・助動詞 (can/may/must/have to/should) ・受動態	・道案内の会話をすることができる。 ・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表することができる。	
	前期期末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○旅先で使う英語を学ぼう ●Lesson 6	6	【やり取り/書く】 ・不定詞① (名詞的用法/形容詞的用法) ・不定詞② (副詞的用法/原形不定詞)	・買い物の会話をすることができる。 ・旅行先から友達へメッセージを送ることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りシートなどの記述内容)
	○スポーツの魅力を伝えよう ●Lesson 7	6	【やり取り・発表】 ・動名詞 ・分詞による後置修飾/分詞構文	・スポーツの試合について会話をすることができる。 ・車いす競技を紹介する発表をすることができる。	

	○未来の技術を想像しよう ●Lesson 8	6	【やり取り・書く】 ・比較①(比較級) ・比較②(最上級/同等比較) □対面授業② ◇パフォーマンステスト	・最新の製品について会話をすることができる。 ・AIを使った未来の技術を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
12 / 1 / 2	○健康の表現を身につけよう ●Lesson 9	6	【やり取り・発表】 ・関係代名詞① (who/which/that 【主格・目的格】) ・関係代名詞② (目的格の省略 /whose/what)	・病院での会話をすることができる。 ・健康について発表をすることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○科学で実現できる夢を語り合おう ●Lesson 10	7	【やり取り/発表】 ・関係副詞 ・仮定法	・先端科学技術について会話をすることができる。 ・先端科学技術を紹介する発表をすることができる。	
	学年末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
3	○友だちに感謝のメッセージを送ろう。	2	【書く】	・1年間を振り返って友だちに感謝のメッセージを伝えることができる。	

令和8年度 教科年間計画

教科	国語	2年	使用 教材	【教科書】新編 論理国語（東京書籍）
科目	論理国語	4単位		【副教材】新編論理国語学習課題ノート 常用漢字の標準演習改訂版

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	国語の知識や技能を身に付けることができる。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養うことができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
・論理とは何か 1 つなげる力	1	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 	プリント ワーク
対話とは何か	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 ・積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、自分の生活におけるコミュニケーションの在り方をまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
世界をつくり替えるために	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
最初のペンギン	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを捉え、要旨を把握している。 ・積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、これからの生き方について考えようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
豊かさとは生物多様性	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
「ふしぎ」ということ	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 ・積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。 	単元テスト プリント ワーク

履歴書の書き方 手紙の書き方	10	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式などについて理解を深めている。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 	レポート
物語の外から	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を捉え、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
カフェの開店準備	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
学ぶことと人間の知恵	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
ラップトップ抱えた「石器人」	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、人間の思考や脳の働きについて、考えを深めようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
資料を整理し、テーマを吟味しよう	10	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。 	レポート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
鏡としてのアンドロイド	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。 進んで話題に注意して文章を読み、筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
ロボットが隣人になるとき	3	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、内容を解釈している。 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、意見を述べようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
思考の肺活量	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。 粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
安心について	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 「読むこと」において、主張を支える根拠等を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。 積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
2論証する力 3要約する力	2	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 進んで演繹的な推論について理解し、広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
前期期末考査	1	○	読			

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
仮説を立てて検証しよう	12	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
言葉は「ものの名前」ではない	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。 ・粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
科学的「発見」とは	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、科学的視点に立った、ものの見方や考え方を理解しようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
弱肉強食は自然の摂理か	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。 ・積極的に筆者の提示する問題や根拠を、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しその内容について話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
複数の「わたし」	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。 ・粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。 	単元テスト プリント ワーク

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
知識における作者性と構造的性	5	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 ・粘り強く筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを読み取り自身のインターネット上の情報の扱い方を振り返り、適切なネット情報の捉え方について話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
資料を活用して論述しよう	12	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。 	レポート
はじめに「言葉」がある	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
楽に働くこと、楽しく働くこと	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・進んで「楽しく働くこと」について、筆者の立場に基づく考えを理解し「働くよろこび」について考えをまとめ、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク
ホンモノのおカネの作り方	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深め、話し合おうとしている。 	単元テスト プリント ワーク

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
未来のありか	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを深めている。 粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり、筆者の主張を踏まえたくえて、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。 	単元テスト プリント ワーク
学年末考査	1	○	読			
資料を活用して論 述しよう	8	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。 	レポート
合計	140	書く領域：50 読む領域：90				